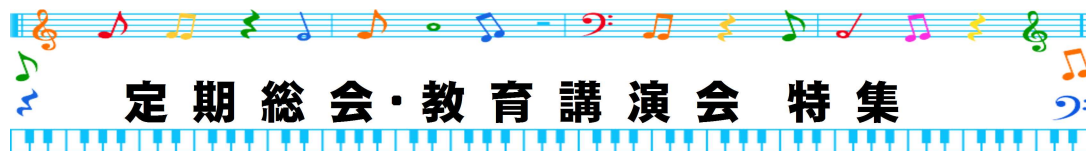


え ど べ ん だ よ り
Ed.ベンだより



〒 242-0007 大和市中心林間 3-16-12 グリーンコーポ中央林間 107

電話 / Fax 046-272-8980 Email: toiwase@edventure.jp URL http://edventure.jp/ 発行日 2015/4/8



定期総会・教育講演会特集

2月21日(土)、Ed.ベンチャーの総会が、渋谷学習センターで今年も行われました。今回の「Ed.ベンだより」では、総会の様子から、浅沼会長の挨拶と、教育講演会の様子をお伝えします。

浅沼蓉子会長あいさつ

皆様、こんにちは・・・。

教育支援グループ Ed.ベンチャーの総会に参加くださりまして、ありがとうございます。

今日の総会に先がけまして、「すたんどばいみー基金の会」の報告会が1月末に開かれました。すたんどばいみー活動13年に及ぶ月日の中で、今回は報告というよりは、思考の表現として、言葉への深い洞察が提示されました。

言葉は、不思議です。言葉そのものに国境はなく、差別もありません。言葉は、獲得した者によって人格化されます。紡ぎ出された普遍の言葉は、他者と分かち合えた時に、言葉は芸術となり人の心を打つのです。

今回の作文では、言葉と格闘しえた者だけに与えられる、知ることへの限りない広がり、考えることへの至福の喜びをもたらす予感がありました。

書くことは、考え続けることだと思います。

昨年2014年は、第一次世界大戦から100年になります。私は、第一次、第二次大戦のヨーロッパに思いを馳せました。二つの大戦を体験した作家の一人、ヘミングウェイの作品には、17世紀の詩人、ジョン・ダンの詩篇からによる思想が根底にあることも知りました。

「どんな人間も島ではない。それ自体で完全ではない。全ての人間は大陸の一片であり、本土の一部である。もし、一塊の土が海に洗い流されれば、ヨーロッパはそれだけ小さくなる。それは岬が消え、きみの友だちやきみ自身の館が消えるのと同じことだ。どんな人の死でも、わたしを減らすことになる。なぜなら、わたしは人類に含まれているからだ。したがって、鐘は誰のためになるのかと問い合わせてはいけない。それは、きみのために鳴っているのだ。」

今日、未だにこの理想はますます遠のいています。どんな理由であれ、だれの命も奪ってはいけません。私たちは、政治から目をそらしてはなりません。私たちは、基本的人権に反するすべてのことに、警鐘を鳴らし続けましょう。

これからも、教育支援グループ「Ed.ベンチャー」へ、皆様の暖かいご支援とご協力をお願いいたします。



教育講演会の報告

教育講演会 2月21日 13:00～ 会場 渋谷学習センター多目的ホール
講師 大阪大学 志水宏吉教授
演題 「しんどい子のためは、しんどい子のためだけじゃない」

定期総会の午後に行われた教育講演会では、志水宏吉先生から、「しんどい子を支えることはしんどい子のためだけじゃない」という題目でご講演頂きました。家庭環境などで様々な課題を持っている「しんどい子」を中心にした学級づくりが、どのように「つながり」を生み、子どもたちの学力を育てるのか、関西の同和教育での取り組みが盛んなしんどい学校や「スクールバスモデル」の事例を交え、しんどい状況をもがく子どもたちに「つながる手」を増やす「社会関係資本」の必要性についてお話し頂きました。後半は、小学校教諭の馬場先生から「家のある教室～つながることの可能性～」、中学校教諭の池田先生から「中学校の支援教育について」、寺子屋コーディネーターの古賀先生から「放課後寺子屋やまと」について、大和市内の小中学校教諭から実践報告をしていただきました。経済資本・文化資本な格差が各家庭で生じ、子どもたちをより分断させようとする社会の中で、つながっていくことの重要性について考えを深める機会となりました。

教育講演会に参加した感想としては、私が勤務する学校だけでなく様々な学校で「しんどい子」が、その子なりに気付いてほしい信号を出しています。しかし、学校現場の中では、その子たちが起こす「問題行動」に対し、「親のせいだから、病気だからしょうがない」などと、「しんどい子」を支えることへの諦めの声も聞こえます。どの時代に生きる子どもでも、家庭からのサポートやバックアップを満足に受けられない子はいます。講演会に参加して、学校はそんな「しんどい子」を支えられる場所や支えてくれる人とつながる場所でありたいと再確認させてくれました。

お知らせコーナー

■理論学習会のご案内■

日時：4月20日（月）19:15～21:00
場所：富士見文化会館
内容：いじめ問題から学級集団をとらえ直す
講師：清水睦美氏（日本女子大学 教授）
参加費：1000円（学生無料）

■理論学習会の今後のテーマ（予定）■

5月11日・6月1日 新学習指導要領を問い直す
7月6日・8月24日 大和に暮らす外国人の子どもを知る
9月7日・10月5日 子育ての現状から子どもを考える
11月2日・12月7日 同和問題を考える

子育て中のみなさんにも参加いただけるように、子ども用のサークルを準備しました。お子さんを連れて是非ご参加ください。



■ Ed.ベンチャーでは、会員を募集しています。ホームページより入会申込書をダウンロードして申し込みを行ってください。理論学習会会場でも申し込みできます。

【理事のつぶやき】：「絆」はいずこへ・・・」先日、震災当初から関わった子どもと活動を行った際に「みんな仮設から出て行ってから僕たち一緒に遊べないんですよ」と子どものもらした声を聞きました。自宅や公営住宅への入居で仮設を離れた子どもと、仮設の子どもとの間に築き上げられた地域の繋がりは、途絶えているように見うけられます。新たな生活の再スタートの課題は大人だけの問題ではありません。被災地の格差のない復興はまだ見えない暗闇のなかです。（M・E）

